

子どもたちの明るい未来のために 3つのRでごみを減らそう

スリーアール
10月は3R推進月間

限りある資源をできるだけ有効に使ってごみを減らし、美しい地球を引き継いで行きましょう。

ごみを減らすための3R

R リデュース **Reduce** ごみになる物を減らす

- マイバッグやマイ箸、マイカップを使って、ごみになるものを減らしましょう。
- 余分な包装、レジ袋・割り箸などの余分な物は断わりましょう。
- まだ使えるものは、直しながら大切に使いましょう。



R リユース **Reuse** 繰り返し使う

- シャンプーなどは詰め替え商品を利用しましょう。
- いらなくなった物は人に譲ったり、交換したりするなどしましょう。

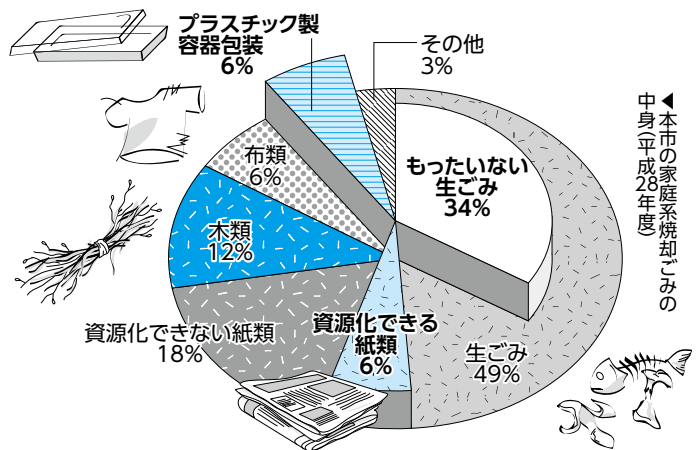


R リサイクル **Recycle** 資源として利用

- 資源物の分別を徹底しましょう。
- 再生品を使いましょう。
- 生ごみは家庭用生ごみ処理機などを使って堆肥化しましょう。
- 回収ボックスでリサイクル



▽使用済み・賞味期限切れ食用油 回収場所＝市役所北側玄関、各区、一部区やスーパーマーケット。
▽使用済み小型家電 回収場所＝市役所北側玄関、各区・図書館、環境学習センター。
▽使用済みインクカートリッジ 回収場所＝市役所北側玄関、各区・区、駅東・陽南・宝木区、田原・岡本コミュニティプラザ、環境学習センター。



▲本市の家庭系焼却ごみの
中身平成28年度

何のために ごみを減らすのか

■資源を無駄にしない
ごみになってしまふものは、原材料が無駄になり、ごみを運び、処理するエネルギーもたくさん必要になります。

■地球環境を守る
ごみが増えると、焼却炉から排出される二酸化炭素の量も増え、地球温暖化の大きな原因になります。

また、燃やした後の灰などを埋め立てて処理する最終処分場についても、日本

の国土には限界があるため、最後には埋め立てる場所がなくなってしまう。

食品ロス(もったいない生ごみ)を減らそう

市民の皆さんのごみの分別の取り組みにより、本市の焼却ごみ量は近年減少しています。

しかし、まだまだ紙類やプラスチック製容器包装など「資源物」の混入が見られます。また、未開封のまま・食べ切ることなく捨てられてしまった「食品ロス(もったいない生ごみ)」

3Rの行動で ごみを減らそう

3Rを徹底することで、さらに焼却ごみを減らすことができます(左の図)。

■「もったいない残しま10」
運動で食品ロス削減

▽宴会で残しま10 開始10分・終了前10分、料理に専念して残さず食べる。
▽食材は10割使い切って、料理は10割食べきる。
▽毎月10日は「もったいない残しま10の日」 冷蔵庫

も約3割に上ります(上の表)。

捨てれば「ごみ」を回収ボックスでリサイクル

などの在庫をチェックし、食べきり・使い切りを実践。

▽使用済み・賞味期限切れ食用油 バイオディーゼル燃料を製造し、ごみ収集車の燃料として利用。
▽使用済み小型家電 レアメタルなどを新たな家電製品の原材料などとしてリサイクル。

2020年東京オリンピックのメダルの材料としても活用。

▽使用済みインクカートリッジ。

◎「もったいない残しま10運動」協力店 まだ食べられるのに廃棄される食品を減らすための「もったいない残しま10」運動の趣旨に賛同する事業者を「もったいない残しま10運動」協力店に登録し、さらなるごみの減量化を目指す取り組みを開始しました。詳しくは、市HPをご覧ください。
◎この特集についての問い合わせは、ごみ減量課☎(632)2414へ。